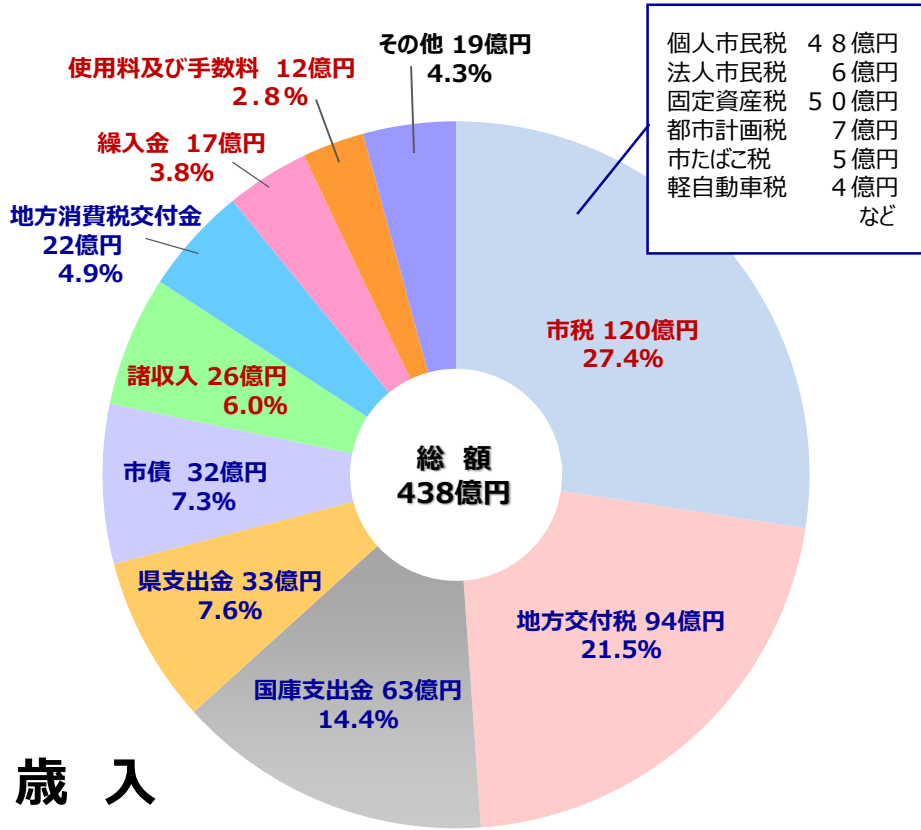
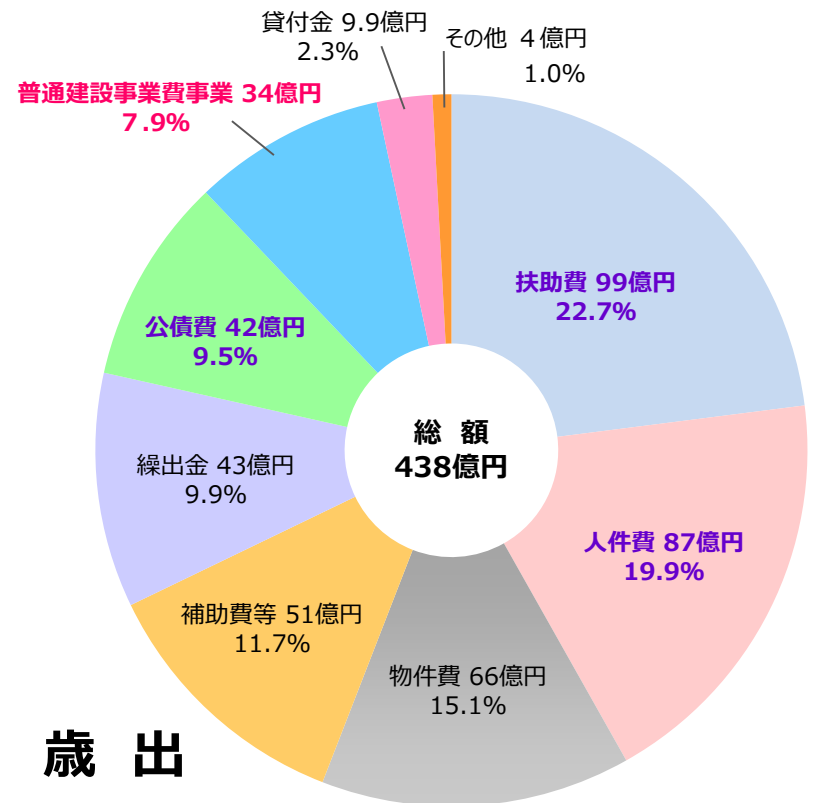


桐生市の財政状況について

桐生市の予算（令和3年度一般会計）



個人市民税	48億円
法人市民税	6億円
固定資産税	50億円
都市計画税	7億円
市たばこ税	5億円
軽自動車税	4億円
など	



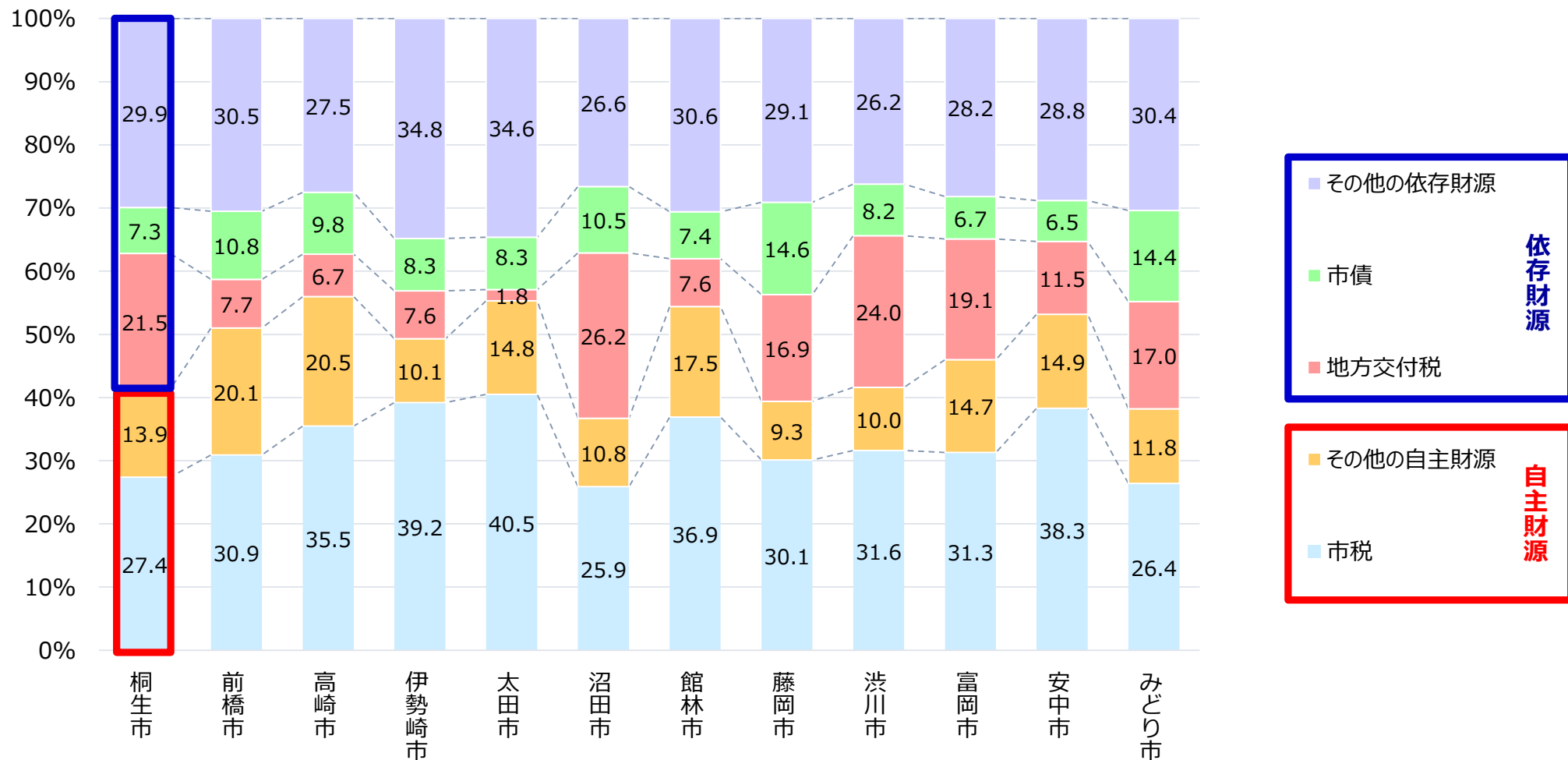
- 自主財源** … 地方公共団体が自らの権能に基づいて自主的に収入するもの
- 依存財源** … 国や県の意志決定に基づき交付される財源
- 一般財源** … 用途が特定されない財源（市税・地方交付税など）
- 特定財源** … 用途が特定された財源（国・県支出金、地方債、寄附金など）

- 扶助費** … 社会保障制度の一環として市が各種法令に基づいて実施する給付など
- 人件費** … 市職員の給与や退職金など
- 普通建設事業費** … 道路の新設や小中学校の改築などの建設事業に要する費用
- 物件費** … 賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料など
- 補助費等** … 各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など
- 繰出金** … 会計間で他の会計へ支出するための費用
- 公債費** … これまでに借り入れた市債を返済する費用
- 貸付金** … 奨学資金貸付金など、市が現金の貸付を行うための費用

- 義務的経費** … 支出が義務づけられている経費
- 投資的経費** … 支出の効果が資本形成に向けられ、施設などがストックとして将来に残るものに支出される経費

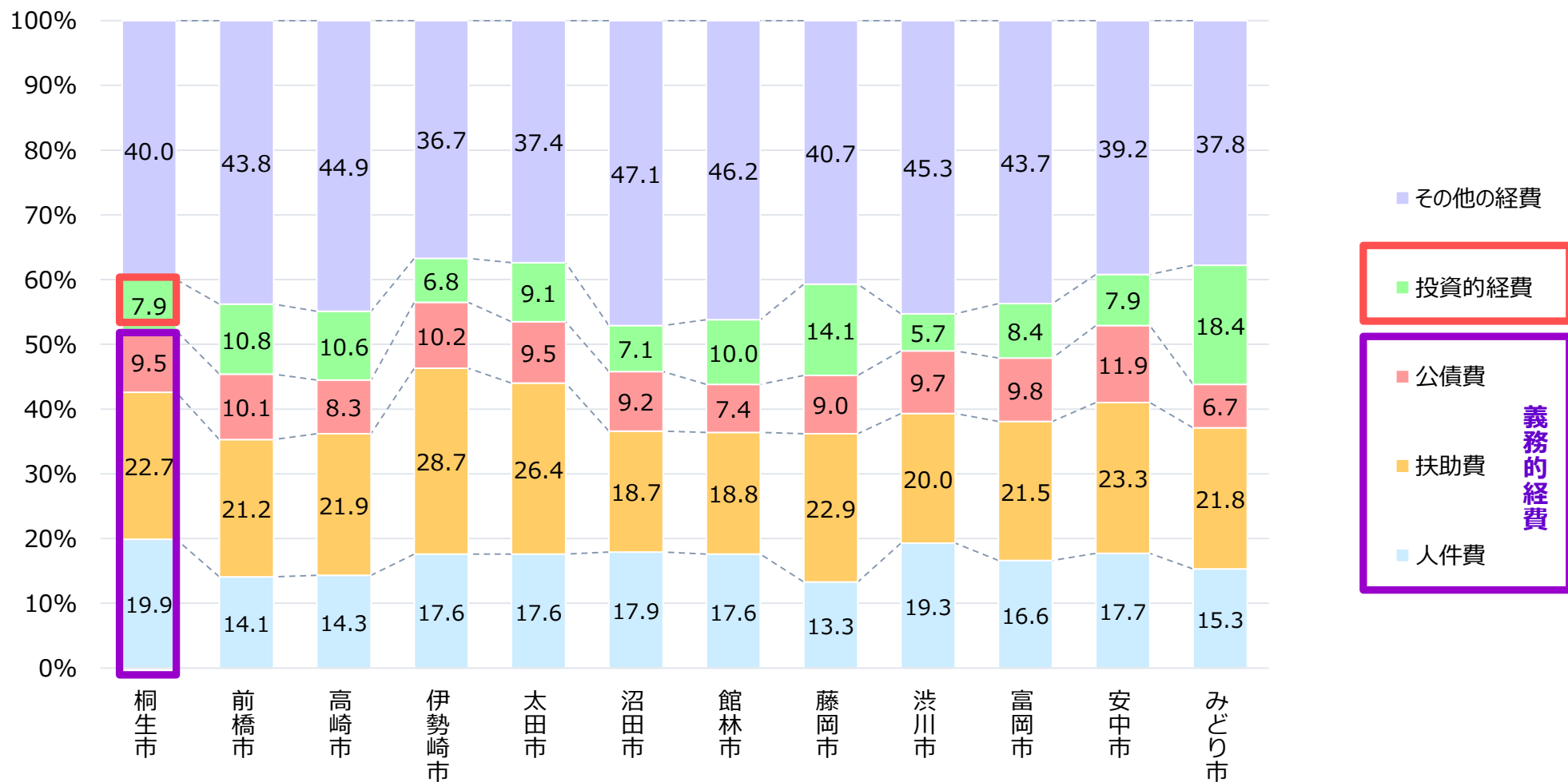
県内他市との比較（令和3年度当初予算）①

歳入予算の割合



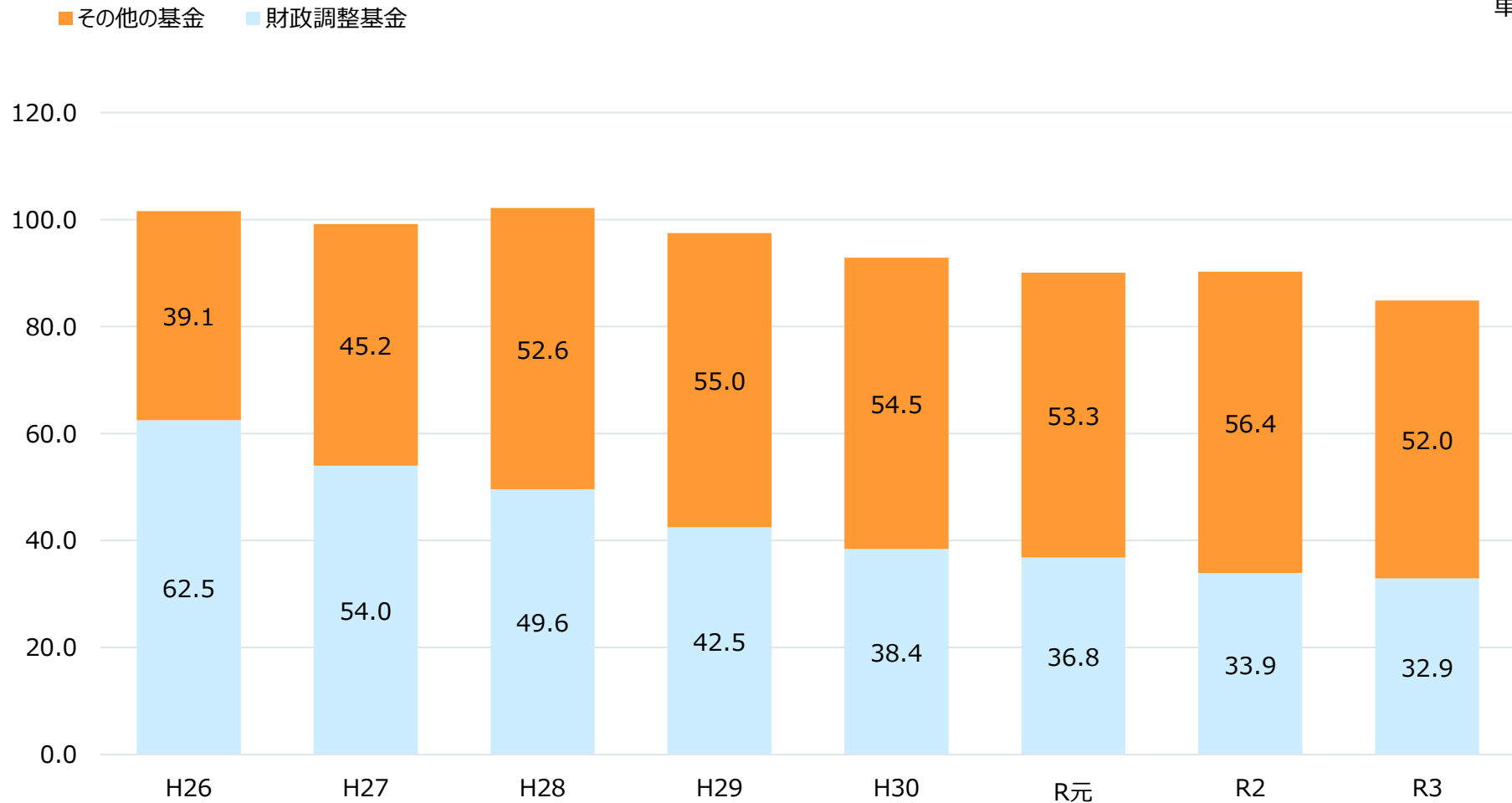
県内他市との比較（令和3年度当初予算）①

歳出予算（性質別）の割合



基金残高の推移（一般会計）

単位：億円



○財政調整基金

年度によって生じる財源の不均衡を調整するために、財源に余裕がある年度に積み立てておくもので、地方公共団体の貯金のこと。
経済不況等による大幅な税収減による収入の不足や、災害の発生による多額の経費の支出が必要になるなどの不測の事態に備え、財政調整基金を積み立てておく必要がある。

今後の財政運営について

歳入

新型コロナウイルス感染症の影響により、歳入の根幹をなす市税収入が減少

令和3年度の市税収入は、令和2年度より約11億円減少する見込み

歳出

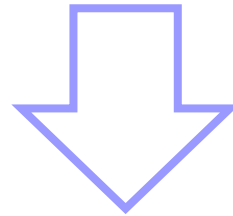
市有施設の老朽化対策

高齢化の進行などに伴う社会保障関係費の増加

財政調整基金の減少

歳入の不足分を財政調整基金の取り崩しで補填する状況が続いている

H26年度末：62.5億円→
R3年度末：32.9億円（見込み）



選択と集中（スクラップアンドビルド※）
限られた財源の中で最大の効果を生み出す

※スクラップアンドビルド

限られた財源の中で、新たな行政課題や社会経済情勢の変化に的確に対応していくために、現在行っている事務事業や補助金等について見直しを行い、時代の変遷に応じて役割を終えていると考えられるものはスクラップ（廃止・縮減）し、それによって生み出された財源をより重要な新しい事業に振り向ける手法。